

平成28年度

岐阜県社協福祉サービス第三者評価事業

評 価 書

(石山保育園)

(厚生労働省「福祉サービス第三者評価基準ガイドラインにおける各評価項目の判断基準に関するガイドライン（保育所版）」、「福祉サービス内容評価基準ガイドライン（保育所版）」及び「岐阜県福祉サービス第三者評価基準」準拠)

社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会

も く じ

1	事業者情報	1
2	総 評	1
3	第三者評価結果に対する事業者のコメント	2
4	評価項目	
	評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	3
	評価対象Ⅱ 組織の運営管理	4
	評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	7
	評価対象Ⅳ 保育所保育の基本	9
	評価対象Ⅴ 子どもの生活と発達	12
	評価対象Ⅵ 保護者に対する支援	13
	評価対象Ⅶ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）	14

*評価書における3段階評価について

○ 3段階評価の目安は次のとおりです。

「A」…十分にできている（優れた状態にある）

「B」…できている（適切な状態にある）

「C」…あまりできていない（一部又は重要な部分が不十分な状態にある）

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

①第三者評価機関名

社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

②事業者情報

名 称：認定こども園 石山保育園	種別：保育所
代表者氏名：平田 奈己	定員（利用人数）： 145 名
所 在 地：岐阜県海津市南濃町田鶴416-1	TEL0584-56-1960

③総 評

石山保育園は、自然に恵まれた環境に立地し、日常的に身近な自然と触れ合い、季節の移り変わりを感じられる環境である。ガラス張りのオープンホールの保育では、各クラスの様子が見渡せる機能性の造りとなっており、園全体が一体となった保育を行っている。平成28年4月に認定こども園となり、担当者を変更し、2年連続の第三者評価に取り組まれた。

◇特に評価の高い点

- ・ 事業計画の策定は、前回の反省を踏まえ、全職員が参画されており周知と理解がされている。第三者評価事業で実施したアンケート結果において、「事業計画の説明を受けて理解できた」は88%で保護者の関心は高い。
- ・ ICT（情報通信技術）は施設の活性化で期待できるものと思われる。
- ・ 指導計画、個別指導計画等は目標・業務手順が文書化され、一貫性のある保育の確保と体制を整えている。また、見直しにあたり職員や保護者の提案・意見を反映させる取組を行っている。
- ・ 子ども一人ひとりにしっかりと寄り添い温かく接している。保育士同士他のクラスの園児も気づいたことなどその都度知らせて共通理解を深めている。
- ・ 異年齢児同士、遊ぶため玩具の種類も多く、関わりの中で大きい子を中心に遊び方も広がっている。保護者との連携を密にし、生活リズムに配慮しており、クラス担任から担当者への引継ぎも適切に行われている。
- ・ 保育参観時にクラス懇談を設けて、保育の意図を説明したり、協力依頼したり、相互理解を図っている。保護者も参加できる行事（遠足、夜間保育、運動会）を実施して園のねらいを伝えて、保育の理解を深めている。
- ・ 幼保小連携協議会が組織され、定期的に情報交換や連携する体制が整っている。また、地元の児童と園児が、行事などで定期的に交流する場を用意している。

◇改善を求められる点

- ・ 人事考課の目的・手法を的確に把握して職員が理解し、真の公正処遇を期すための人事考課と自己評価を合わせて職員の質の向上となればと期待する。
- ・ ボランティアを積極的に受け入れているが、更に保護者や地域と連携した継続的な活動とマニュアル等の整備を期待する。
- ・ 衛生管理マニュアルはあるが定期的に見直しをして、定期的に衛生管理に対する検討会を開かれない。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

⑤評価細目の第三者評価結果（別添）

（別紙）

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-（1） 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1-（1）-① 理念が明文化されている。	A
	I-1-（1）-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 「体の力 心の力 学ぶ力」を理念とし、「つよく あかるく すなおで がんばれる子」を基本方針とされて、これらを「園のしおり」に明記されている。施設内の各所に大きな文字で誰でも目に付くよう工夫されて掲げられている。この理念、基本方針で運営されていることが確認できた。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 施設独自の共通理解書で、理念や基本方針を職員の行動規範とし、十分な周知と共通理解を促すようさらなる取り組みを期待する。</p>		
I-1-（2） 理念や基本方針が周知されている。		
	I-1-（2）-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A
	I-1-（2）-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 理念や基本方針は、共通理解書で明示されており、職員会や施設内研修で周知している。第三者評価事業で実施したアンケート結果において「説明を受け理解した」と回答した保護者は95.2%と高い。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 認定こども園の初年度として、苦勞されている様子がうかがえた。「理念や基本方針の周知」は、職員としては当たり前で、保護者も理解されているが、当評価機関において過去に実施した第三者評価事業アンケートの平均回答率は80.2%に対して同園の回答率は77.6%と低い。今後を期待したい。</p>		

I-2 事業計画の策定

I-2-（1） 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-（1）-① 中・長期計画が策定されている。	A
	I-2-（1）-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	B
<p>良い点/工夫されている点： 中・長期計画は5年単位で作成されており、予算と実績の対比も月1回実施されている。また、保護者のアンケートも取り入れられて計画が明確になっている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 今の計画に加え、施設長として管理者のビジョンについても計画の中で明文化されることにより、中・長期計画において、職員や保護者に対して今後の運営に安心感を与えられると思われる。建物改修のみならず事業計画の策定に今一度見直しされたい。</p>		
I-2-（2） 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-（2）-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	A
	I-2-（2）-② 事業計画が職員に周知されている。	A
	I-2-（2）-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	A

<p>良い点/工夫されている点： 事業計画の策定は、前回の反省を踏まえ、全職員が参画されており周知と理解がされている。第三者評価事業で実施したアンケート結果において「事業計画の説明を受けて理解できた」は88%で保護者の関心は高い。 ICT（情報通信技術）は施設の活性化で期待できるものと思われる。</p>
<p>改善できる点/改善方法： 保護者の提言等を事業計画に反映されたい。</p>

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価結果
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	B
<p>良い点/工夫されている点： 認定こども園となった1年、多忙だったと思われる。施設長として「子どもの最善の利益」を追求されており施設内外の課題に取り組み、責任と役割を明確に表明されていることが確認できた。「チーム石山」での報告・連絡・相談等で管理者としての責任を果たされている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法： 「法令リスト一覧表」はあるが同園としての該当法令・通達等をピックアップし、職員で共有されたい。</p>	
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	A
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	B
<p>良い点/工夫されている点： 施設長として職員会議や入園式、園だよりにおいて、保育所の役割や社会的責任を明確にされて、施設の良さや課題を正しく理解し、指導力を発揮されている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法： 新保育指針に、保育士等の自己評価と保育所の自己評価について明記されており、施設の質の向上のために自己評価を実施し、業務の効率化と改善についてより一層推進し「子どもの最善の利益」に結び付けられたい。</p>	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	B
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 管理者の積極的な外部との環境を把握され、他施設との交流で情報を得ていることは確認できた。コスト分析も行われている。年2回の外部監査で指摘事項を改善している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法： できる限り経営状況について職員と共有し、課題を整理し、職員に問い掛け改善されることを期待する。</p>	

II-2 人材の確保・養成

II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A
	II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	B
<p>良い点/工夫されている点： 職員の配置等をしっかり見極めて職員体制が整っている。 施設全体の職員に活気があり、笑顔が絶えない。「福祉は人なり」と言われているが、良い環境を構築されての職員体制の整備は確実にされている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 人事考課の目的・手法を的確に把握して職員が理解し、真の公正処遇を期すための人事考課と自己評価を合わせて職員の質の向上となればと期待する。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A
	II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A
<p>良い点/工夫されている点： 県共済での福利厚生が実施されて、職員も積極的に活用している。 有給休暇の取得について、管理者は範を示され、就業状況は確実にチェックされている。残業ゼロを目指して、日々職員に声掛けがされている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 福利厚生センターの加入を検討されていたので期待する。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A
	II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	B
	II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B
<p>良い点/工夫されている点： 経験の浅い職員等に、園内研修でレベルアップに努力されている。研修後の学びを活かし、同保育所での周知が図られている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 質の向上に向けて「子どもの最善の利益」につながる自己評価に基づいて、個別の課題を見つけ、教育・研修を見直すことを期待する。</p>		
II-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者評価結果
	II-2-(4)-① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 施設長は、次世代の人材育成の認識は十分感じられ、積極的に受け入れられている。マニュアルも整備されている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 職務分担表において実習生の受け入れ担当を明記し、受け入れの際には園だより等において保護者にも周知することが望まれる。</p>		

II-3 安全管理

3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
--------------------------------	---------

II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	A
II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A
<p>良い点／工夫されている点： 管理規程の中で、衛生・健康管理及び防災・災害対策など具体的な安全確保の取組を示し施設長等の責任を明確にしている。「暴風警報・地震警戒宣言時等における休業及び登降園について」、「登園してはいけない主な病気一覧」等を保護者に配布し周知を図っている。防災マニュアルでは職員の役割と責任を明確にし、発生時対策や保護者への対応等を講じている。また、ヒヤリハット・事故報告書のもと事例の収集及び検証に努めると共に、定期的に園内設備等について安全点検を実施している。緊急時等の保護者への情報提供は、メール配信サービスを活用しているほか、指定避難所への避難訓練を定期的に実施している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

II-4 地域との交流と連携

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	A
II-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B
<p>良い点／工夫されている点： 地域行事であるたんぼまつりの武者行列、養老鉄道を守る会、特別養護老人ホームへの訪問等積極的に参加している。また、地域に配布する園だよりを通じて園内行事である運動会、クリスマスコンサート等に積極的に参加を呼び掛け、相互の交流に努めている。地域子育て支援拠点事業として、未就園児と保護者に対し、子育て支援センター「すくすく教室」を開いており、子育て相談や子育てに関する講演会等を実施し地域の期待に応えている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： ボランティアを積極的に受け入れているが、更に保護者や地域と連携した継続的な活動とマニュアル等の整備を期待する。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	A
II-4-(2)-②	関係機関との連携が適切に行われている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 地域の社会資源である関係機関・団体等を、危機・安全及び医療・保健・福祉面ごとにリスト化し、職員の誰もが速やかに対応できるよう明示している。併せて、必要に応じて保護者へ情報提供も行っている。また、保育所、保健センター、発達支援センター等からなる連絡協議会や幼保小連携協議会を定期的開催し、常に相互で連携が取れる体制を確立している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	A
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A

<p>良い点／工夫されている点： 福祉ニーズは、地域行事への参加や保護者との懇談及び行政等を通して把握に努めている。また、園庭開放や一時保育及び未就園児と保護者を対象とした地域子育て支援拠点事業を積極的に展開している。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-1 (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
Ⅲ-1-1 (1) -① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	A
Ⅲ-1-1 (1) -② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A
<p>良い点／工夫されている点： 毎朝、職員による児童憲章の朗読が行われ、また、園の「職員の勤務する心構え」のもと利用者を尊重する姿勢を明確にしている。利用者のプライバシー保護については「個人情報管理規程」を整え会議等を通して職員への周知徹底を図り、保護者等に対しては「プライバシーポリシー」を示し、園の取り組む姿勢を明確にしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅲ-1-1 (2) 利用者満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-1 (2) -① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	B
<p>良い点／工夫されている点： 保護者会や個別懇談会のほか、年4回行事ごとに行う保護者アンケートにより、意見・要望を聞き必要に応じて改善等に繋げている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 行事ごとに行っている保護者アンケートを発展させ、保育全般にわたり保護者の意向等が把握できる工夫を期待する。</p>	
Ⅲ-1-1 (3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-1 (3) -① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A
Ⅲ-1-1 (3) -② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A
Ⅲ-1-1 (3) -③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A
<p>良い点／工夫されている点： 園入口に意見箱を設置するとともに、意見・要望又は苦情に対する責任者・受付担当者・第三者委員を置き、意見等に真摯に受け止め対処する姿勢を整えている。また、マニュアルを策定するとともに、意見や苦情等の結果を文書又は広報誌等で周知している。その他、送迎時での連絡ノート・ひと月をまとめた連絡ノートを用いて園での様子などを伝え、保護者から家庭の様子等を聞く取組をしている。</p>	
<p>第三者評価事業で実施したアンケート結果において、お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて保育者（職員）と情報交換や相談することができるか問いに対してできるという回答が9割を超えていることから、職員と保護者の信頼関係が築かれていることがうかがえる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅲ-2 サービスの質の確保

Ⅲ-2- (1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ-2- (1) -①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A
Ⅲ-2- (1) -②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	A
<p>良い点/工夫されている点： 保育計画や行事計画等は相互評価を定期的に実施し、次回の計画に反映させている。また、第三者評価を積極的に受審し、窓口となる担当者を前回と入れ替えるなど職員意識の向上に繋げている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		

Ⅲ-2- (2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
Ⅲ-2- (2) -①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A
Ⅲ-2- (2) -②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A
<p>良い点/工夫されている点： 指導計画、個別指導計画等は目標・業務手順が文書化され、一貫性のある保育の確保と体制を整えている。また、見直しにあたり職員や保護者の提案・意見を反映させる取組を行っている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		

Ⅲ-2- (3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2- (3) -①	利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	A
Ⅲ-2- (3) -②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B
Ⅲ-2- (3) -③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A
<p>良い点/工夫されている点： 管理規程に基づき、文書の管理から保存にわたり基本的事項を定め、各種保育の記録を所定の様式により担当者ごとに記録整理している。また、文書の保管管理は、帳簿ごとに背番号を付け整理し、職員がいつでも活用できるよう工夫をしている。</p> <p>改善できる点/改善方法： プライバシーポリシーにおいて、保護者等から情報の開示を求められた場合の開示の姿勢・範囲・配慮等について記載されたい。</p>		

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

Ⅲ-3- (1) サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ-3- (1) -①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
Ⅲ-3- (1) -②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 園紹介の「入園のしおり」は、カラーで写真・絵・図を使い誰でも分かるよう工夫している。また、Facebook やホームページにより、利用希望者がいつでも閲覧できる状況にある。入園の開始にあたり</p>		

説明後に同意の確認を行うと共に、担任・施設長と新利用者との話し合いの場を設け、落ち度がないよう対応している。	
改善できる点/改善方法：	
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	A
良い点/工夫されている点： 退・転園にあたり、子どもの児童要録を転園先・入学先に引き継いでいる。また、地域の幼保小連携協議会において就学に対する情報交換等を定期的に行い、サービスの継続性を確保する体制を整えている。その他、卒園児を夏祭りに招待するなど配慮を行っている。	
改善できる点/改善方法：	

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。		A
良い点/工夫されている点： アセスメントは基本様式のもと担当者を定め、入園前、入園開始直後及び3か月ごと実施し、リーダー会で検討のうえ個別の指導計画等に反映させている。		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。		A
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。		A
良い点/工夫されている点： 個別の実施計画は長期的・短期的指導計画を通して策定し、担当者案を全職員で検討する体制を整えている。また、定期的かつ必要に応じて随時見直す取組を確立している。その他、クラスごと室内に毎月の保育のねらいや計画等を掲げ、保護者の理解に努めている。		
改善できる点/改善方法：		

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ-1 養護と教育の一体的展開

		第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。		A
良い点/工夫されている点： 職員が児童憲章を毎日唱えている。保育方針に基づき発達過程を意識した保育課程を作成している。地域の実態に即した計画を編成している。		
改善できる点/改善方法：		

IV-1-(2) 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 乳幼児がハイハイしても安心なように、保育室・廊下の掃除を毎日徹底して行い、安全・清潔に保たれている。 職員全員がSIDS（睡眠時無呼吸症候群）などの知識を共有し、子供の命を守る保育の重要性について意見交換している。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
IV-1-(3) 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 一人ひとりの発達過程を大切にして、個別計画を作成している。 複数担任制を導入するなど基準以上の職員配置をしている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
IV-1-(4) 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 年齢に応じた指導計画、5領域を意識した保育をめざして、職員全体が取り組まれている。 日案は、園児にもその日の活動がわかるよう、ひらがなで廊下に掲示されている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
IV-1-(5) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 保護者が小学校以降の子どもの生活について見通しが持てるよう、年4回の小学校連携交流会や個別懇談等、就学を見通しが養育に取り組んでいる。また、幼保小連携協議会や他園の職員との交流、意見交換により、保育内容や保護者との関わりも見直している。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	A
<p>良い点/工夫されている点： オープン方式の保育室は、明るく開放的である。また、各クラスの園児の人数に合わせて、棚などの仕切りを移動することにより広さを変えて対応している。 開放的で見通しのよい保育室は、園児や保育士同士関わりやすく、相談もできて心強いという。 昼時に3歳以上児がワイワイ元気いっぱい雑巾がけをしている喧噪のかたわらガラス窓越しに熟睡している3歳未満児とその間を見回る保育士の落ち着いた姿が見え、また、その隣の部屋には楽しそうに話しながら食事をとっている年長児たちがそれぞれ混在一体となっている空間が何とも穏やかにさえ感じられた。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	

IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	A
<p>良い点/工夫されている:</p> <p>子どもが自ら考えやってみようと思えるような言葉がけがあり、温かい見守りで自立支援型の保育を目指している。</p> <p>今年から3、4、5歳児は8:45~9:00を戸外遊びの時間を設け、朝型の子どもを目指している。</p> <p>基本的な生活習慣も身につけられて、よく遊びよく食べる良い循環となっている。</p>	
改善できる点/改善方法:	
IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	A
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>施設長が保育心理士養成講座を取得しており、園児の心理を受け止め自発性を育てる大切さを職員と共有している。また自発的に遊びが展開できるような用具やおもちゃが豊富にみられた。</p>	
改善できる点/改善方法:	
IV-2-(4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	A
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>季節の移り変わりを直に感じる事が出来る豊かな自然の中、図鑑を持って毎日のように園外に散歩している。遠足では、親子で電車に乗って養老の滝まで歩いて出かけて行くこともあるという。</p>	
改善できる点/改善方法:	
IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れて、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	A
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>訪問時、園児からの積極的な挨拶があり、裸足で走ったり、広いホールで次々と蛙飛びをしたりして、明るく元気であった。</p> <p>毎日降園時の30分は、3、4、5歳児合同でホールに集まり、芝居や絵本の読み聞かせをしている。</p> <p>年齢ごとに、わくわくタイム、科学遊びなどの知育教育にも取り組んでいる。また、5歳児は「音のたまてばこ」など外部の指導者による沢山の楽器を体験したり友達と一緒に演奏して楽しめる時間もある。</p>	
改善できる点/改善方法:	

IV-3 職員の資質向上

IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	A
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>年に2回、人事考課のシートを利用しての保育士の自己評価は行われている。</p> <p>保育士は真剣に向き合い自己評価されており、その後、保育士自身の気づきも多く、施設長との面談も行われている。</p>	

改善できる点/改善方法：

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

V-1- (1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果 A
<p>良い点/工夫されている点： 子ども一人ひとりにしっかりと寄り添い温かく接している。オープンホールの利点として、他のクラスも見渡せるため、保育士同士、時々園児の保育で気づいたことなどその都度知らせて共通理解を深めている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
V-1- (2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	B
<p>良い点/工夫されている点： 障がい児を対象にした特別保育を実施しており、必要に応じて発達支援センターと連携し相談・助言を受けている。 また、職員全体で声掛けをして成長を見届けている。</p> <p>改善できる点/改善方法： 職員は、障がいの程度や症状についての学習会をして、職員全体の知識や見聞を広められ、相談や助言等、より細かく対応できるように保護者支援を図られたい。</p>	
V-1- (3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	B
<p>良い点/工夫されている点： 異年齢児同士、遊ぶため玩具の種類も多く、関わりの中で大きい子を中心に遊び方も多様化している。保護者との連携を密にし、生活リズムに配慮しており、クラス担任から担当者への引継ぎも適切に行われている。</p> <p>改善できる点/改善方法： 夕方以降おやつは自宅から持ち込みとしているが、この点について子どもの軽食、夕食など計画的に献立を考えるなど再考されたい。</p>	

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2- (1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果 A
<p>良い点/工夫されている点： 毎朝の担任による視診と、保護者からの健康状態チェック表により子供の健康状態をしっかりと把握している。健康管理マニュアルも作成し、職員全員で把握できるようにしている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
V-2- (2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 5歳児の野菜作り、3、4、5歳児合同のレストランごっこ等を通じて、子供の食の関心が高まるよう工夫されている。食育年間計画が作成され、調理員にその日の献立の話をしてもらう機会を作っているなど食の関心は高い。ほとんどの子がかなりの量の給食を完食している。</p>	

改善できる点／改善方法：	
V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>毎月、職員間で給食会議を開き、給食日誌を交代で毎日つけている。給食担当者がクラス担任から子供の様子を聞き、調理の工夫や配慮がされている。</p> <p>自園給食で温かい食事が用意できる。</p> <p>近隣の農家からの旬の食材を生かした献立を工夫され作られている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>近隣の歯科医師の指導を受けることができる。</p> <p>健康診断の結果は保護者に周知されており、嘱託医との連携も密である。</p>	
改善できる点／改善方法：	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果
	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>食物アレルギー児の個別ファイルを作成し除去食、代替食を毎日記入している。</p> <p>食物アレルギー児の保護者には毎月の献立表で除去するものをチェックしてもらい代替食に誤りがないように名前プレートを作り添付し、給食担当者、担任と二重チェックをするなど十分に配慮されている。</p> <p>年度初めには主治医の診断、検査結果など提出してもらい職員全体で周知している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの嘔吐等、素早く対応できるように処置の段取りはできている。</p> <p>調理員以外調理室に入らないようにしている。食器は除菌庫に入れてから使用している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法</p> <p>衛生管理マニュアルはあるが定期的に見直しをして、定期的な衛生管理に対する検討会を開かれたい。</p>	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
--	---------

VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	A
<p>良い点／工夫されている点： 食事のマナーを教えるのに適正とされている3歳児を対象に、年に1度給食参観を実施し、保護者にも試食してもらっている。 園だよりにレシピなど載せて、発達期の子どもの食の重要性を積極的に保護者に発信している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 送迎の際、温かい雰囲気で行々のコミュニケーションを図っている。また、年2回の懇談会を設けている。その他保護者から相談等を受けて、随時保護者と信頼関係を作っている。 園だよりと保育内容を施設の窓などに掲示して「見える化」を図っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 保育参観時にクラス懇談を設けて、保育の意図を説明したり、協力依頼したり、相互理解を図っている。保護者も参加できる行事（遠足、夜間保育、運動会）を実施して園のねらいを伝えて、保育の理解を深めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 虐待に対応する意識を持ち、子どもの日常の様子をチェックし、1日1回以上、着替え時に身体の視診を行い、心身の状態に気を付けている。 管理者への報告、虐待の疑いがある場合は、保護者への声掛け、確認、改善を図る体制がある。</p>	
改善できる点／改善方法：	

評価対象VII 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 警察署と連携を取っているほか、夜間・休日は警備会社に警備を委託するなどの措置を行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果

Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 入園のしおりや毎月の園だより、メール配信サービスのほか、Facebook を活用し情報の提供に努めている。また、第三者評価事業で実施したアンケート結果において、保護者が参加しやすいよう行事日程が配慮されているかの問いに対して、配慮されているとの回答が9割を超えており、保護者が保育参加のために予定を立てやすいよう配慮がなされていることがうかがえる。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 保護者会は会則を定め活動し、保護者と保育所は両輪の関係であることを互いに理解している。特に、保護者の多くが同園の卒園者であることから、地元の野菜やみかんの差し入れもあり協力的である。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 幼保小連携協議会が組織され、定期的に情報交換や連携する体制が整っている。また、地元の児童と園児が、行事などで定期的に交流する場を用意している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

